



ホーム>世界>インド「ダリットたちの尊厳回復プログラム」報告3

一緒に歩もう!一緒に変わろう!「立ち上がった世界の人々」の21世紀の夢を応援しよう!



抑圧された人々、ダリットたちの尊厳回復プログラム

南アジア・インド北部

3日間のビジョン・セミナー開催 2010年12月

私たちが自分の置かれた状況に「全くどうすることもできない」と思い込むとき、実は、私たちは身近な家族や仲間、そして地域社会からの発言や扱いから暗黙のうちに教えられてきた「お前はどのような、無力だ」という偽りのささやきの暗示にかかっていることが、ほとんどだ。現在、制度上は撤廃されているが、慣習として残っているカースト制度の最下層に位置づけられ、「人間」というカテゴリーにさえ入れてもらえなかったインドのダリットの人々にとっても、同じように偽りのささやきの力は深刻だ。人間としての自分の存在意義の回復、そして、社会の課題に立ち向かう能力を持っていることを仲間と共に見出すセミナーは、埋もれていた新しい自分を発見する貴重な機会である。

2010年12月にラエ・バレリ地区で開催されたビジョン・セミナーは、参加した25人の参加者にとって、まさにこの偽りの鎖から解放されて、変更不可能と思えた課題の一つ一つに小さなことからでも挑戦する勇気を得る機会になった。今まで学習能力さえない、と決め付けられ、学校にも通ったことがなく、セミナーにも参加したことがない人々ばかりだ。セミナーで仲間たちと一緒に考え、新しい見方を学ぶ機会を得て、他の人々から虐げられてきた状況を変えていく知恵と能力が与えられていることに始めて気づいたのだ。社会や地域で人がどのように権力を使うのか、それに対して、自分たちがどうしたら、建設的に忍耐を持ってその社会や地域に働きかけることができるかを学ぶ機会でもあった。

セミナー参加者の決意

参加者たちは、自分たちを縛り続けたカースト制度の意味を、あらためて客観的に学ぶことができた。この制度の呪縛を受けて、自分たちもより弱い立場の人に対して、言葉と行いで抑圧していたことにも気がつかされた、という。だから、ひとからされて屈辱だった言動や嫌だったことを、これからは自分より弱い立場の人に絶対行わない、という決意をした。自分を縛っていたカースト制度の呪縛を取り除くのは、自分からだ気がつかされた、という。特に、女性を最下層だと考える文化慣習に育ってきたので、妻や娘たち女性を尊重して接することを決意した男性たちもいた。

今まで屈辱的な行為を受けても「何も変わらない」という諦めから、社会慣習の問題を提起し、抗議したことはなかった。けれども、今回セミナーに参加して、他の人々にもこの心の苦しさや屈辱を理解し、慣習撤廃に協力してもらおうことの大切さを考えさせられた、という。このために声を上げようと決意した人もできた。小さな一人ひとりの大きな大きな決意が、村と社会を変えていくことを信じて。



2010年12月 ビジョン・セミナーに参加したラエ・バレリ地区の人々

彼らが直面する課題

ダリットの人々が住む村では、教育の機会がなかったため、ほとんどの人が非識字者のままである。また、農村では、公立学校教育の質も非常に低く、教師はきちんと教えることができていない。中学生になっても父の名前も書けない子どもたちがいる。

もう一つの大きな問題は、酒造りが収入源である村々だ。ここでは6才の子どもから、酒造りに駆り出される。多くの男性がアルコール依存症になり、家庭内暴力が絶えない。

多くの根深い問題があるにもかかわらず、この改善のために関わる自治体やNGOはほとんどない。今回ビジョン・セミナーに参加した人々が、自分たちのうちに与えられている能力と可能性に目覚め始めた。社会の被害者のままでいることに決別し、自分たちにできる小さな一歩の模索が始まったところだ。

ラム・スラットさんは自分も歩んできた長い道のりを思い返しなが、この一歩一歩が光に近づく道であることを信じている。彼らの励まし手、応援者となることがこの長い道のりを超えてきた自分の役割であると自覚したセミナー開催だった、という。



この地域社会に根付くところを奴隷化する「偽り」をグループで分析中

[プログラム内容](#) [報告1](#) [報告2](#) [報告3](#) [年間レポート](#) [報告4](#) [報告5](#) [報告6](#) [報告7](#) [報告8](#)

[Page Top](#)

[Share](#) |

[ホーム](#) [活動内容](#) [FVIの特徴](#) [参加する](#) [寄付・献金](#) [お問い合わせ](#)

Copyright(c) Friends with the voiceless International All Right Reserved

